



令和7年 1月

関係各位

コンクリート用化学混和剤協会

混和剤の試験に関するお願い

拝啓 平素は当協会加盟各社に多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

混和剤の JIS 規格が 1978 年に制定されて以来、当協会は混和剤の技術開発を通じて日本のコンクリート技術の発展と共に歩んで参りました。ただ、生コンクリートの需要は 1990 年をピークに減少の一途を辿り、2023 年にはピーク時の 36%まで減少しており、当協会としても厳しい市場環境となっております。

このような環境下ではありますが、当協会員は顧客からの要望を受けて、分離抑制作用や酷暑期の施工性確保など、新たな混和剤の開発を精力的に進めてまいりました。新たな製品を上市するにあたり、外部機関における認証取得の他、混和剤 JIS 規格である JIS A 6204（以降、混和剤 JIS と省略）により、コンクリート試験で年 2 回、その品質（性能）を確認することが求められており、品目の増加によりその負担が大きくなっております。

しかしながら、関連学会において特殊な性能を有する混和剤の性能を、新たな規格においてコンクリート試験などで評価する動きが散見されています。新しい機能を持つ混和剤の技術開発は当協会に課せられた使命ではありますが、その運用に関しては、下記の基本方針を取らせて頂きますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 混和剤 JIS 以外の新しい混和剤に関する品質基準のコンクリート試験等は製品開発時、あるいはその新しい品質基準適用時の一回限りで確認することを基本といたします。
2. 対象となる混和剤の継続的な品質確認は、混和剤 JIS にて実施いたします。
3. 対象となる混和剤が混和剤 JIS で規定される性能による区分のいずれにも適合しない場合は、メーカーが推奨する試験方法によって性能を確認いたします

以上